

ヤリス モデリスタ バージョン

サイドスカート 取付要領書

品番:D2611-60910 MSD44-52009/MSD44-52010

設定型式:MXPH1#/MXPA1#/KSP210 設定グレード:全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

本書は、サイドスカートの取付要領について記載してあります。

取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なってください。

取り付け上の注意事項

- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様に配慮してください。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なってください。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意してください。
- 商品の仮合わせ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施してください。
- 本製品の取り付けは、2名で作業を行なってください。
- エンドモール（両面テープ付き）・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂してください。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- サイドスカートを取り付ける部品の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取ってください。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗ってください。
(PACプライマーN-200/K-500を本品に添付)
- Ⓔ重要 プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。
- Ⓔ重要 ■ 両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なってください。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発する為、速やかに作業を終了してください。
- 両面テープのプライマーは、特に塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- Ⓔ重要 ■ 両面テープの圧着を十分に行ってください。49N (5kgf/cm²) 以上

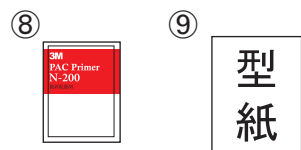
取り付け完了後の点検・注意事項

- サイドスカートが、車両に確実に貼り付けされているか点検してください。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検してください。
- 取り付け完了後、サイドスカート及び車両部品に傷がついていないか点検してください。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意してください。
(両面テープの剥がれ、車両とサイドスカートとの間に隙間が発生する恐れがあります。)



アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

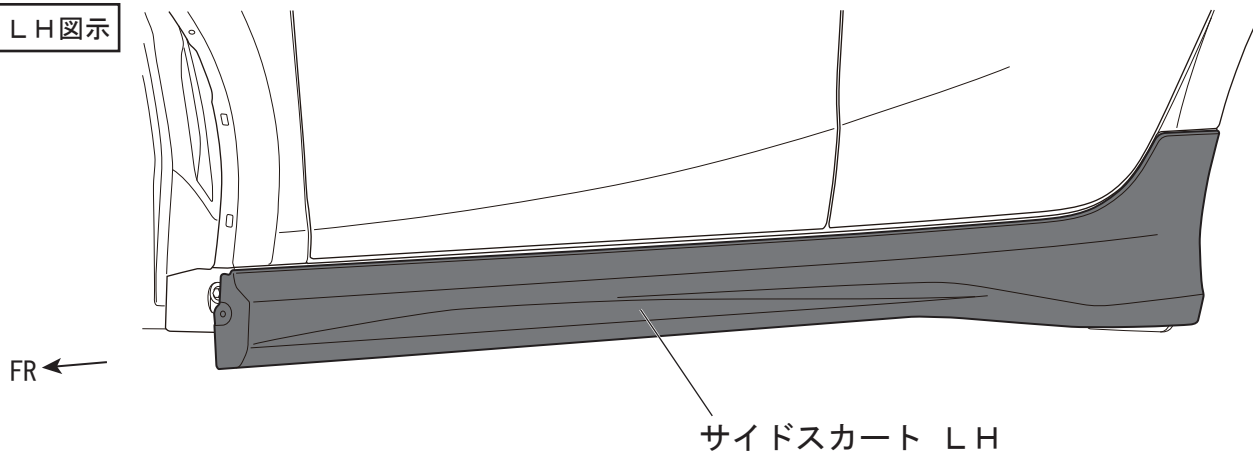


No.	品名	個数
①	サイドスカート RH	1
②	サイドスカート LH	1
③	タッピングビスA	6
④	グロメットA	6
⑤	グロメットB	2
⑥	タッピングビスB	8
⑦	ワッシャー	4
⑧	PACプライマーN-200	1
⑨	型紙	1

※⑥タッピングビスB (2個) 及び⑤グロメットB (2個) は、リヤホイールハウスプレートFR無し車のみ使用します。

取付概要

LH図示

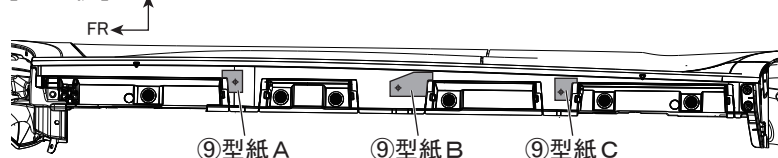


取付手順

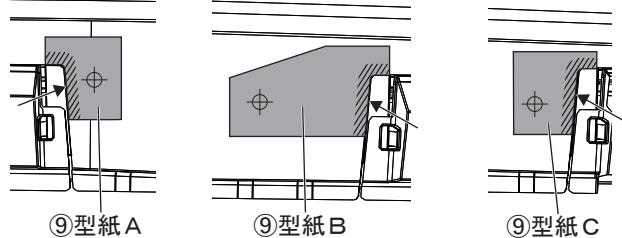
I. 取付準備

LH図示 ※RHも同様に

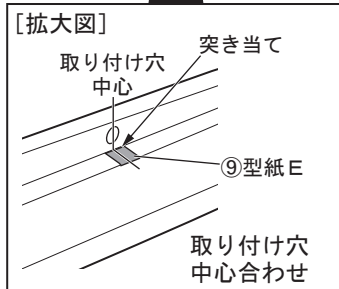
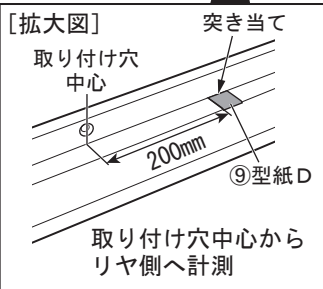
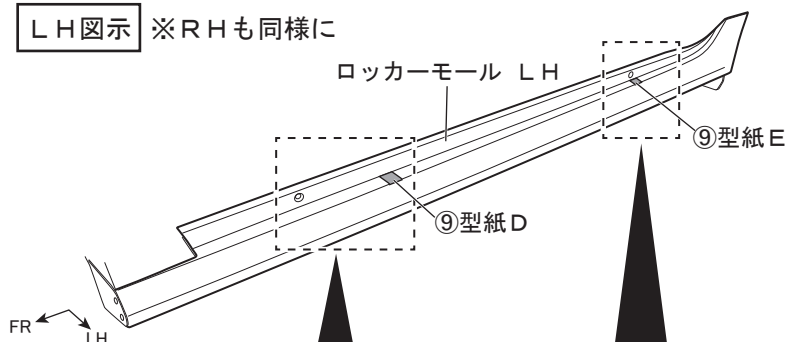
[下面視] LH



[拡大図] 各型紙の斜線部を形状に合わせる

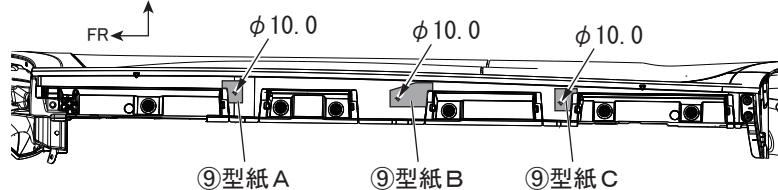


LH図示 ※RHも同様に



LH図示 ※RHも同様に

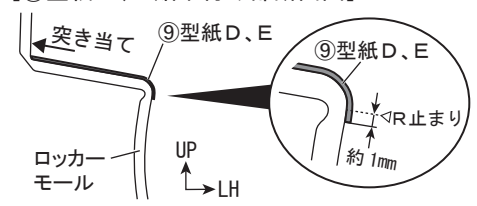
[下面視] LH



1. 車両ロッカーモールド下面に⑨型紙A、B、Cを切り抜き、貼り付ける。

2. 車両ロッカーモールド側面に⑨型紙D、Eを貼り付ける。

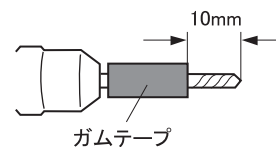
[⑨型紙D、E貼り付け部断面図]



3. ロッカーモールド下面の⑨型紙A、B、Cの穴あけ位置に合わせてドリルで穴を3ヶ所あける。(ドリル φ3.0→φ6.0→φ10.0)

アドバイス

・穴あけ作業の際は、ドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。

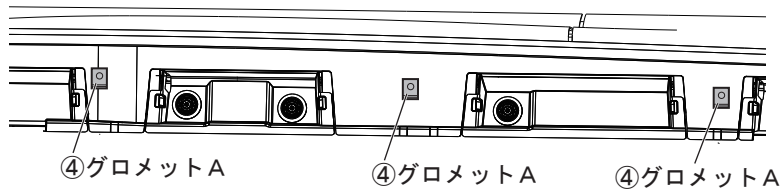


4. ⑨型紙A、B、Cを剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。

LH図示 ※RHも同様に

[下面視] LH

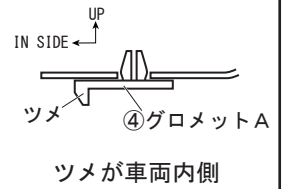
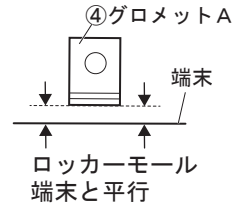
FR←



5. ロッカーモール下面のφ10.0穴に④グロメットを3ヶ所取り付け。 (左右各3ヶ所)

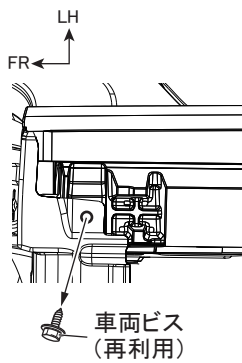
アドバイス

・④グロメットAを取り付ける際は、向きに注意してください。



LH図示 ※RHも同様に

[下面拡大図]



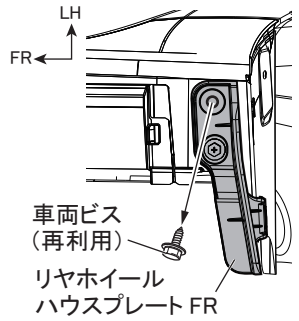
車両ビス (再利用しない)

車両ビス (再利用)

6. 車両下面 (左右各1ヶ所) 及びフロントホイールハウス部 (左右各1ヶ所) の車両ビスを取り外す。

LH図示 ※RHも同様に

[下面拡大図]



車両ビス (再利用しない)

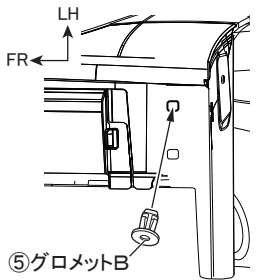
リヤホイールハウスプレートFR
車両ビス (再利用)

[リヤホイールハウスプレートFR付き車の場合]

7. 車両下面リヤホイールハウスプレートFR部 (左右各1ヶ所) 及びリヤホイールハウス部 (左右各2ヶ所) の車両ビスを取り外す。

LH図示 ※RHも同様に

[下面拡大図]



車両ビス (再使用しない)

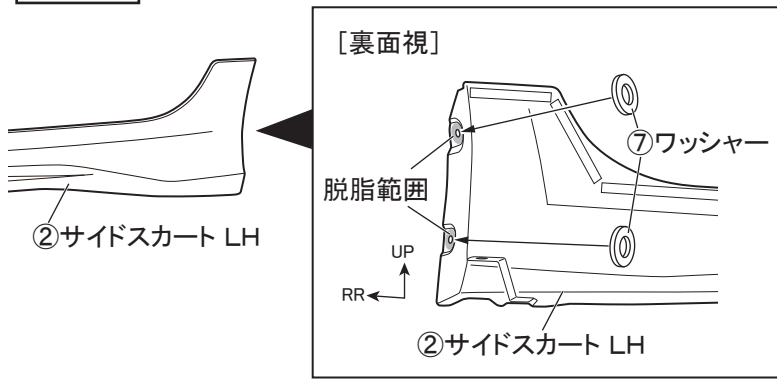
⑤グロメットB

[リヤホイールハウスプレートFR無し車の場合]

8. リヤホイールハウス部 (左右各2ヶ所) の車両ビスを取り外す。

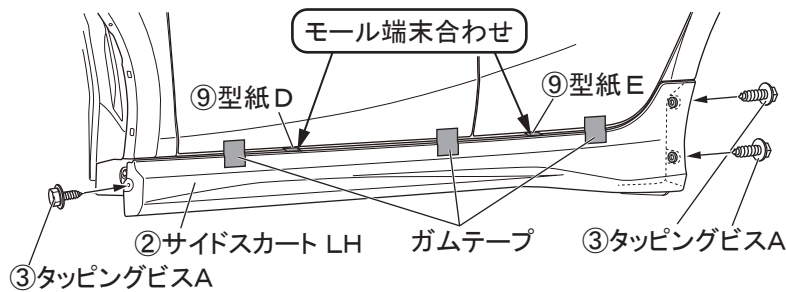
9. 車両リヤ側下面の図示角穴に⑤グロメットBを取り付ける。 (左右各1箇所)

LH図示 ※RHも同様に



10. ①②サイドスカートリヤ側の折り返し部裏面取り付け穴周囲を脱脂し、⑦ワッシャーを貼り付ける。(左右各2ヶ所)

LH図示 ※RHも同様に



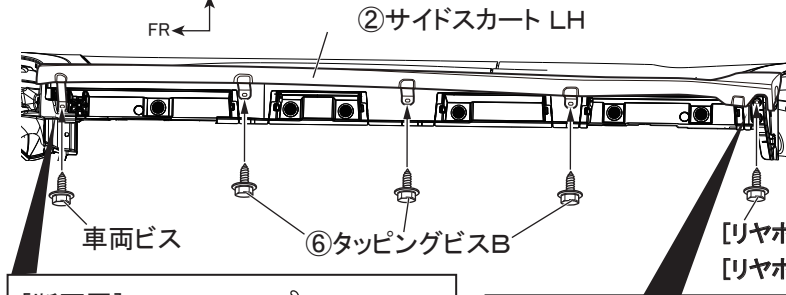
[リヤホイールハウスプレート FR 付き車の場合]

11. ⑨型紙D、Eの取り付け高さに合わせて①②サイドスクートを車両に仮当てし、下面を⑥タッピングビスB (左右各3ヶ所)、車両ビス (左右各2ヶ所)、ホイールハウス部を③タッピングビスA (左右各3ヶ所)で仮締めし、取り付け位置を確認してガムテープ等で仮固定する。

[リヤホイールハウスプレート FR 無し車の場合]

12. ⑨型紙D、Eの取り付け高さに合わせて①②サイドスクートを車両に仮当てし、下面を⑥タッピングビスB (左右各4ヶ所)、車両ビス (左右各1ヶ所)、ホイールハウス部を③タッピングビスA (左右各3ヶ所)で仮締めし、取り付け位置を確認してガムテープ等で仮固定する。

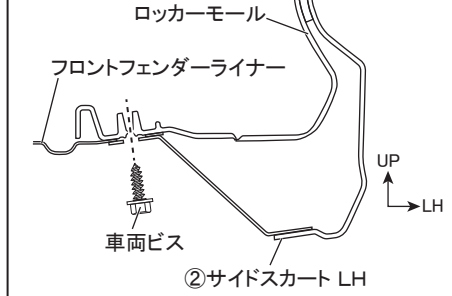
[下面視]



[リヤホイールハウスプレート FR 付き車] : 車両ビス

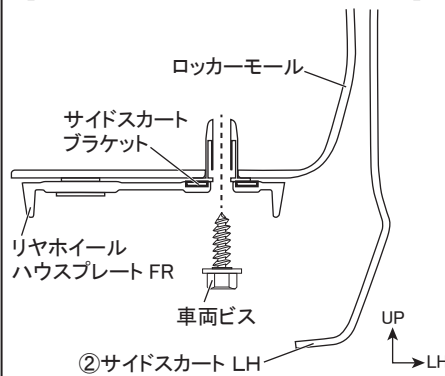
[リヤホイールハウスプレート FR 無し車] : ⑥タッピングビスB

[断面図]

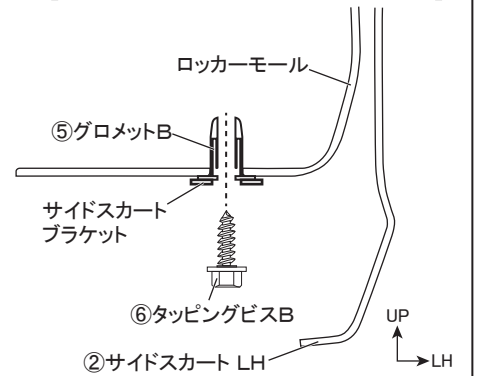


[断面図]

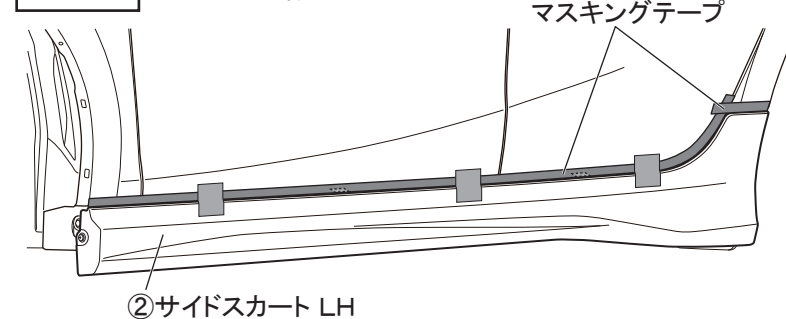
[リヤホイールハウスプレート FR 付き車]



[リヤホイールハウスプレート FR 無し車]



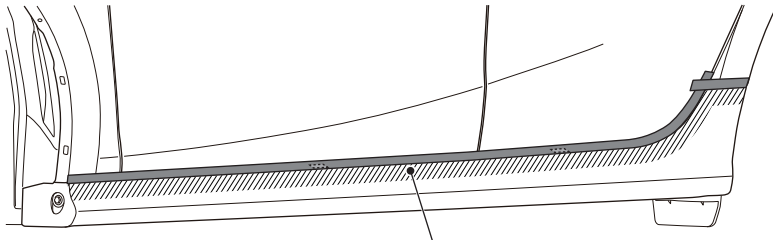
LH図示 ※RHも同様に



13. 左図を参照し、マスキングテープを①②サイドスクートのエンドモール上端に合わせて貼り付ける。

14. ①②サイドスクートを取り外す。

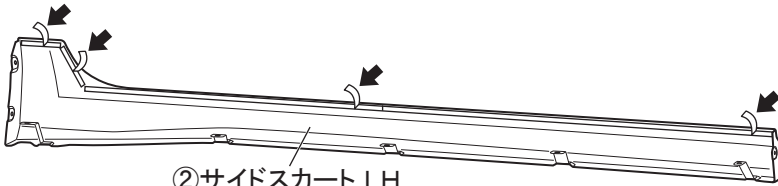
LH図示 ※RHも同様に



プライマー塗布範囲
(斜線部：約30mm均等幅)

LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]



②サイドスカート LH

15. 車両側面の左図斜線部を脱脂し、⑧PACプライマーN-200を塗布する。

 アドバイス

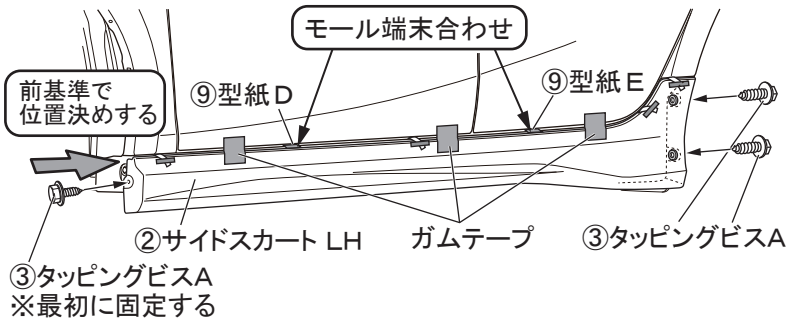
- PACプライマーN-200は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。

16. マスキングテープを剥がす。
※⑨型紙D、Eは剥がさないでください。

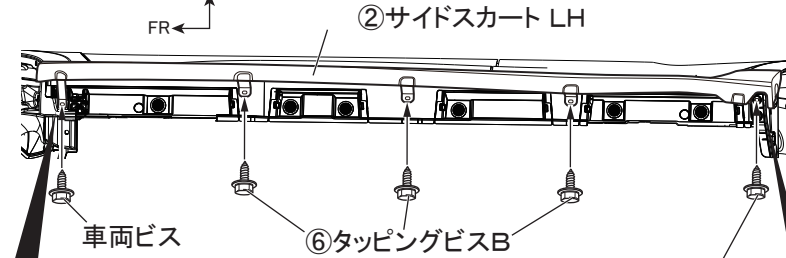
17. ①②サイドスカートの離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。(片側4ヶ所 左図矢印部)

II. 取付け

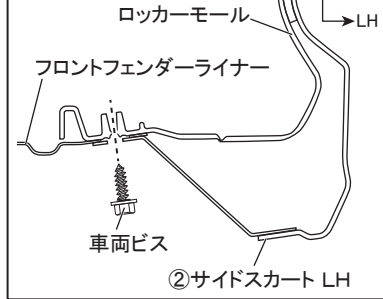
LH図示 ※RHも同様に



[下面視]



[断面図]



[リヤホイールハウスプレートFR付き車]
車両ビス

[リヤホイールハウスプレートFR無し車]
⑥タッピングビスB

[リヤホイールハウスプレートFR付き車の場合]

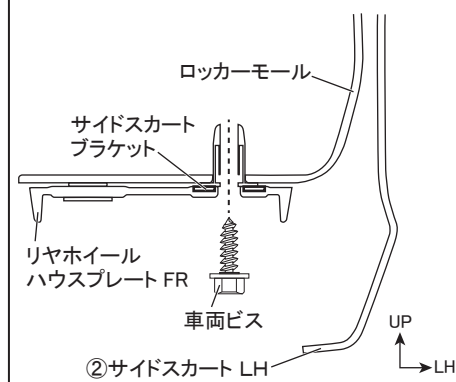
- ①②サイドスカートを仮当て時と同様の手順で車両に仮組し、下面を⑥タッピングビスB (左右各3ヶ所)、車両ビス (左右各2ヶ所)、ホイールハウス部を③タッピングビスA (左右各3ヶ所) で仮締めし、取り付け位置を確認してガムテープ等で仮固定する。
- ⑨型紙D、Eの取り付け高さ①サイドスカート (モール上端) が合っていることを確認し、フロントホイールハウス部の③タッピングビスA (左右各1ヶ所) を本締めする。

[リヤホイールハウスプレートFR無し車の場合]

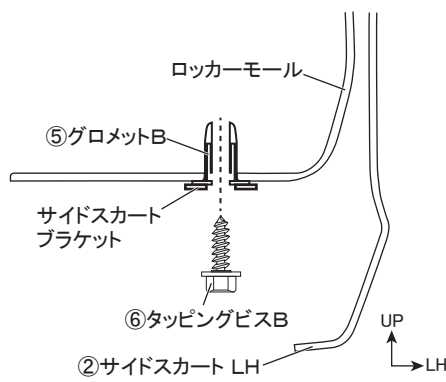
- ①②サイドスカートを仮当て時と同様の手順で車両に仮組し、下面を⑥タッピングビスB (左右各4ヶ所)、車両ビス (左右各1ヶ所)、ホイールハウス部を③タッピングビスA (左右各3ヶ所) で仮締めし、取り付け位置を確認してガムテープ等で仮固定する。
- ⑨型紙D、Eの取り付け高さ①サイドスカート (モール上端) が合っていることを確認し、フロントホイールハウス部の③タッピングビスA (左右各1ヶ所) を本締めする。

[断面図]

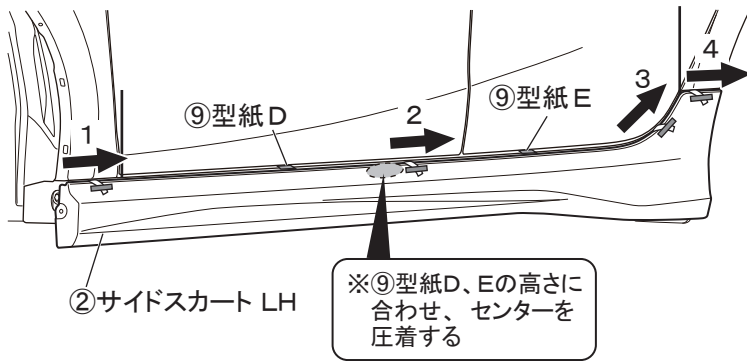
[リヤホイールハウスプレートFR付き車]



[リヤホイールハウスプレートFR無し車]



LH図示 ※RHも同様に

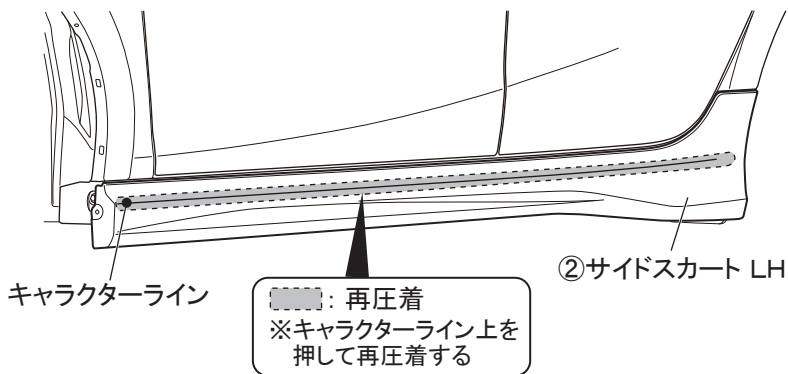


5. ⑨型紙D、Eの取り付け高さに合わせて両面テープの離型紙を1～4の順に引き抜きながら圧着する。

 アドバイス

- ・離型紙が途中で切れない様に①②サイドスカートを少し浮かせながら離型紙を引抜いてください。
- ・両面テープの圧着は、49N(5kgf/cm²)程度の力で行ってください。

LH図示 ※RHも同様に

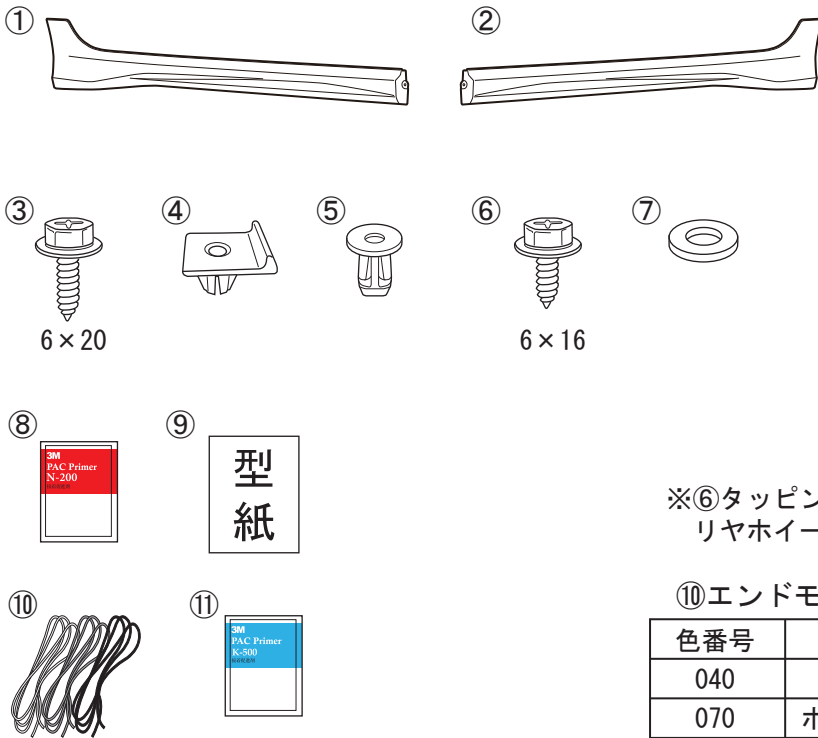


6. ①②サイドスカートの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープの貼り付け後、3時間以上放置し図示キャラクターライン上を再圧着する。

7. 仮締めしていた③タッピングビスA、⑥タッピングビスB、車両ビスをすべて本締めし、取り付け作業終了。

サイドスカート素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	サイドスカート RH	1
②	サイドスカート LH	1
③	タッピングビスA	6
④	グロメットA	6
⑤	グロメットB	2
⑥	タッピングビスB	8
⑦	ワッシャー	4
⑧	PACプライマーN-200	1
⑨	型紙	1
⑩	エンドモール	ライトグレー:2 グレー:2 ブラック:2
⑪	PACプライマーK-500	1

※⑥タッピングビスB (2個) 及び⑤グロメットB (2個) は、リヤホイールハウスプレートFR無し車のみ使用します。

⑩エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
040	スーパーホワイトII	ライトグレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1F7	シルバーメタリック	グレー
1L0	シルバーメタリック	グレー
1L6	マッシュグレー	ブラック
202	ブラック	ブラック
3R9	ボルドーマイカメタリック	ブラック
3T3	センシュアルレッドマイカ	ブラック
3U6	アイスパークメタリック	グレー
3U7	コーラルクリスタルシャイン	ブラック
4V8	アバンギャルドブロンズメタリック	グレー
6W7	サーモテクトライムグリーン	ブラック
8W7	ダークブルーマイカメタリック	ブラック
8W9	シアンメタリック	ブラック

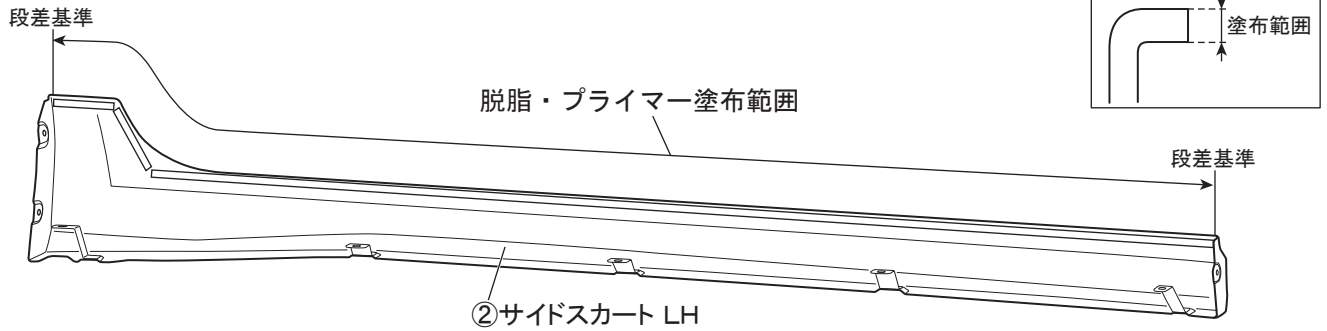
サイドスカートの塗装

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープをマスキングする。
3. 上塗り塗装を行う。
※上塗り塗装にはウレタン系を使用してください。
4. 硬化
※硬化温度は、成形樹脂の特性上、必ず60℃以下で硬化させてください。

プライマーの塗布

1. ①②サイドスカート⑩エンドモール貼付け部分を脱脂し、⑪PACプライマーK-500を塗布する。

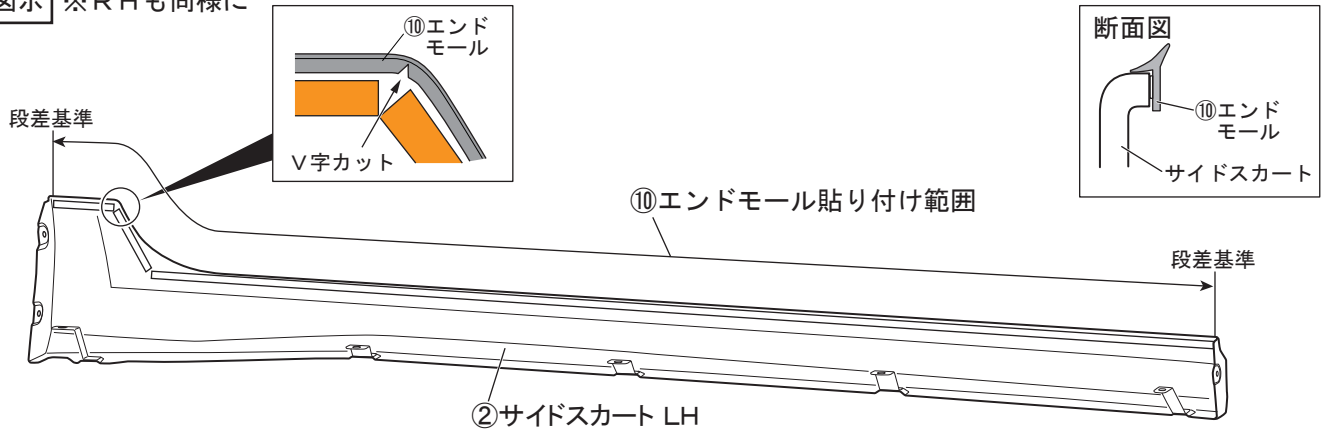
LH図示 ※RHも同様に



エンドモールの貼り付け作業

1. 下図の要領で⑩エンドモールを貼り付ける。

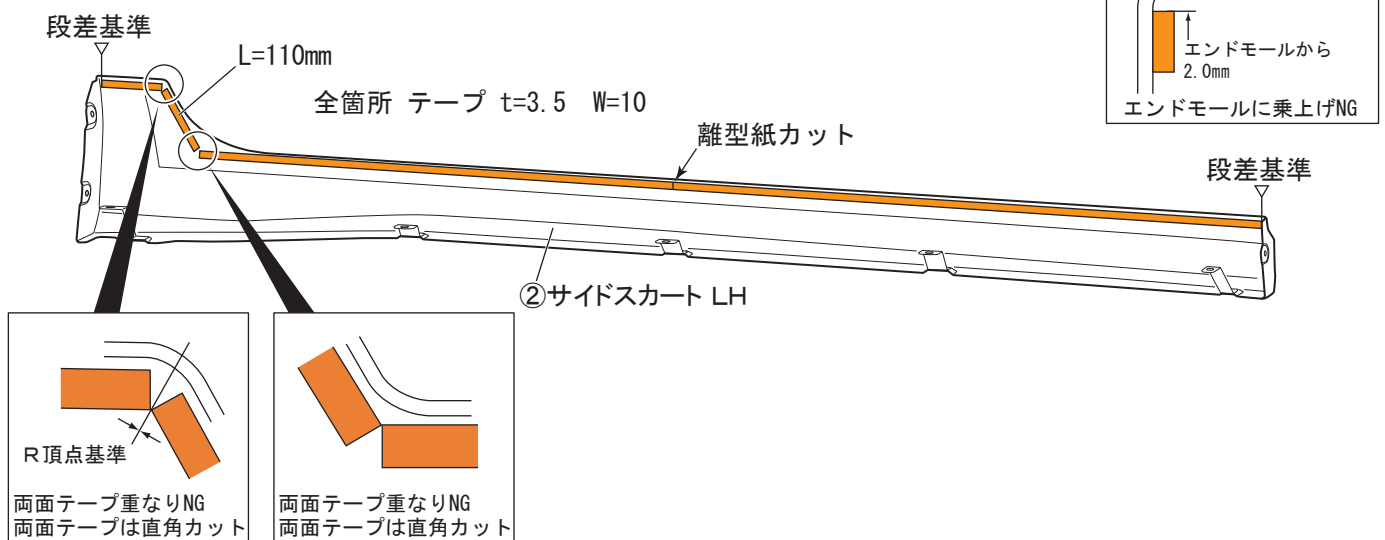
LH図示 ※RHも同様に



補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用して①②サイドスカートの再取付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。

LH図示 ※RHも同様に



脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

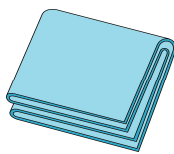


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

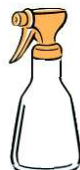
■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



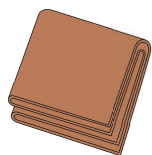
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールの痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

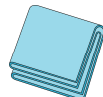
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

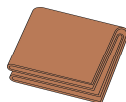


水拭き用バケツ



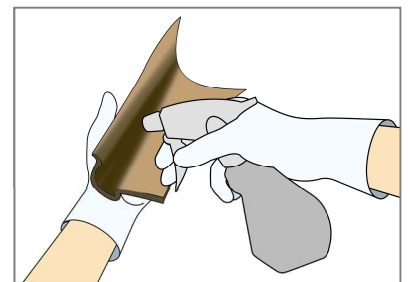
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

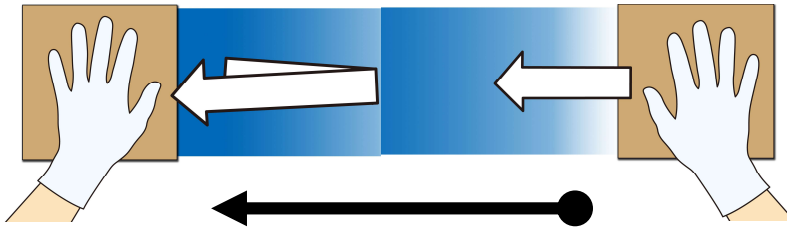
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

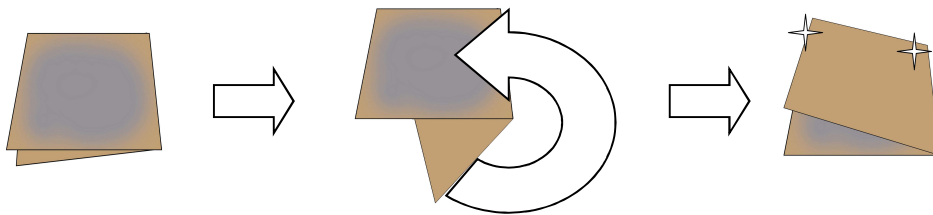
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。